

伝統・文化を守ることについて



福岡啓子
議員

福岡 ブータンでは公の場所では、民族衣装の着用が義務づけられ、また、建物も公私を問わず、伝統的様式で建てなければならぬ。日本では失しなわれてしまった多くが残っていた。



ブータン王国のプナカ・ゾン

天草にはどのような郷土料理があるのか。どのようにして継承していくのか。

経済部長 せんだご汁・がね揚げ・押し包丁などがあり、イベントにおいての出店や、学校での郷土料理教室・地域での料理教室などで伝えている。

福岡 家庭で食べさせるようにしていかなければ、継承していけないのではないか。

次に、伝統芸能はどのようなものがあり、どのように継承しているのか。

観光文化部長 地域単位、集落単位

位で多くのものがある。無形文化財として県指定が1件、市指定が17件ある。集落内での世襲制になっているが、後継者不足に頭を悩ませている。市民活動としての伝統芸能の継承について、支援をしていきたい。

福岡 最近急に増えてきている、コンビニエンスストアの天草市の規制はないのか。

経済部長 一定面積以下のコンビニエンスストアの出店規制はないし、本市としてもない。

福岡 24時間営業の店も増えてきているが、大都会と同じように地方でも必要か。便利さと引き換えにしているものも失っていくのではないか。

経済部長 個人の生活スタイルの多様化や、仕事、勤務体制の多様化により、昔のように一つの尺度では測れない時代になってきている。

福岡 便利さを追求し、経済性からだけで物事を判断してしまうと、後で取り返しがつかないようになってしまっているのではないか。

地域の均衡ある発展を目指して



中村五木
議員

中村 3月9日付けの新聞に掲載された市長の談話の中で、「旧本渡市への一極集中はポジティブにとらえており、本渡に大きな力を集めエンジンとして天草全体を引っ張っていく」旨の発言があったが、その真意は。

市長 旧2市8町が同じように厳しい状況になりつつある中、本渡地区に市全体に必要な都市機能を集約し、周辺地区と連携することで、さまざまな活動を効率的に進めることが重要との意を込めた。

中村 公共施設の統廃合が進まないなど、行政の効率化が図れていないのは、いまだに市として一体化できていないからではないか。一極集中するには、あわせて衰退する周辺地域へ配慮した施策も必要であり、また市民に対し、地域でやっていたことや我慢が必要なことなどについても、きちんと説明していくべきである。今後ますます厳しくなる市の財政状況を見据えれば、「一体感のあるまちづくり」を早急に進め、行政の効率化を図ることが重要と考える。

また、談話では、地域コミュニティについても触れられていたが、具体的にどのようなコミュニティを構築するお考えか。

市長 地域の課題を地域みずから解決できるよう発展することが将来像であり、さらに地域経済の活性化が図られるような仕組みづくりも必要と考えている。このような観点から地区振興会やまちづくり協議会が設立され、その活動も次第に認知されて一定の成果を挙げているものと認識している。

中村 地域をつくるには公的な支援も必要であり、各地域の第一線でその役割を担うのは支所ではないか。以前より申し込めたが、組織再編など必要な効率化は図りつつも、職員が責任を持って地域づくりに参画できるよう、支所にも一定の権限を与え、本質的な機能の充実を図っていただきたい。

市長 各地域団体が連携して動いていくためには、支所も権限を持つて支援していかねければならず、支所の役割はますます大きいものと認識した。

公用車の管理運用状況について



鐘光秀孝
議員

鐘光 行政事務を効率的に行うため、公用車を保有しているが、平成25年度当初における保有、稼働状況はどうか。

総務部長 保有台数は328台、年数別では5年未満133台、10年未満73台、15年未満97台、15年以上25台となっている。稼働率は最高100%、最低25%となっている。

鐘光 公用車の年間維持管理費の総額は。

総務部長 総額は4、577万円。

鐘光 車両の購入基準は。

総務部長 天草市公用車両購入（リース）指針を作成している。購入とリースを比較すると購入が経済的である。

鐘光 交通事故件数と事故防止対策は。

総務部長 平成24年度は30件発生している。安全運転の意識高揚を図っている。

鐘光 公用車の一元管理を進め更新計画を作成すべきである。また厳しい財政状況の中、公用車のド

アに有料広告を掲載すべきと要望。

【窓口受付業務について】

鐘光 窓口受付業務における職員教育や指導は。

市民生活部長 窓口では市役所の顔として対応している。新人研修や勤務年数による研修を実施している。また、「笑顔であいさつ、はつきりと」を基本にしている。

鐘光 窓口業務時間延長は市民の利便性向上のため今後も実施を要望。

次に、市職員減少の中、サービス低下を招かないために民間委託は考えないのか。

市民生活部長 職員の資質、能力向上に努めている。窓口業務の民間委託も選択肢の一つとしている。

鐘光 事務事業を総点検し、先進事例を参考としてどこまで出来るのか検討すべき。市民に対する接客については「おもてなし」の心を込めた取り組みを要望。

全国市議会議長会永年勤続議員表彰

平成25年度の全国市議会議長会の総会において、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により表彰されました。



平山 泰司 議員

議員歴
・平成10年4月～同18年3月（本渡市議会議員）
・平成18年4月～同25年4月（天草市議会議員）

議員より一言

このたびに職15年以上の永年勤続の表彰を賜りました。これもひとえに、地元後援会を初め、多くの皆さまのご支援、ご厚情のためものであり感謝しております。私が、市議会議員として取り組んできた第二天草瀬戸大橋の建設も事業着手が決定され、早期完成を望むものであります。今後とも、天草市発展のため、地域のため、頑張っていく所存でございます。



蓮池 良正 議員

議員歴
・昭和62年5月～平成7年5月（五和町議会議員）
（表彰規程により対象期間に含まれない）
・平成10年4月～同18年3月（本渡市議会議員）
・平成18年4月～同25年4月（天草市議会議員）

議員より一言

老いも若きも笑顔で暮らせる地域づくりが、行政と議会と市民（組織）に求められています。基幹産業である農林漁業の多様な担い手育成支援に向けた記念すべき年にあたり、市議会議員として15年の勤続表彰を受けますことに責任の重大さを感じております。持続できる天草（市）づくりに、今後とも果敢に努力してまいります。



10年表彰
田中 茂 議員

議員歴
・平成11年5月～同15年12月（五和町議会議員）
・平成16年2月～同18年3月（五和町議会議員）
（町議会議員の勤続年数は、市議会議員の1/2で換算される）
・平成18年4月～同25年4月（天草市議会議員）

議員より一言

この度、全国市議会議長会より永年勤続表彰を受けました。これまでご指導・ご支援をいただきました皆さま方に心より感謝を申し上げます。これからも、微力ながら地域のために、ひいては天草市発展のために誠心誠意努力をいたしてまいります。よろしくお願いいたします。